

高校生との意見交換会

愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校

龍ヶ崎市議会では、議員が市内の高校や大学を訪問し、生徒や学生の皆さんと意見交換を行う取組を進めています。

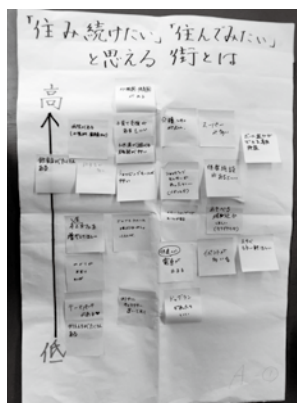
1月30日には、5名の議員が愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校を訪問し、「『住み続けたい』『住んでみたい』と思えるまちとは」をテーマに、生徒の皆さんとグループディスカッションを行いました。

同校には市外から通学している生徒も多く、それぞれが暮らすまちの「好きなところ」「良いところ」に加え、「もう少しこうだったらよいのに」と感じている点について、率直なご意見を伺うことができました。

若い世代ならではの視点から、まちに求める魅力や居心地の良さにつながる多くのヒントを得る、貴重な機会となりました。



▲議会の仕組みや議員活動について説明した後、議会クイズを行い、楽しみながら理解を深めていただきました



グループディスカッションでは、はじめに「『住み続けたい』『住んでみたい』と思えるまち」について各自の意見を付箋に記入しました。

その後、グループ内で意見を交わしながら、付箋を優先度順に並べ替えたり、新たな意見を出し合ったりしました。

政策討論会

初

龍ヶ崎市議会では、市民の皆さまの声を聴取し政策に反映していく「政策サイクルの実現に向けた取組」を進めています。

この取組の中で、非常に重要な役割を担うのが「政策討論会」です。

政策討論会は、市政の重要なテーマや課題について、議員同士が自由に意見を交わし、議論を深める場です。通常の会議（本会議や委員会）で行われる「議員から市執行部への質問」とは異なり、議員同士が直接議論を行うことで、議員間の共通認識や合意形成を図り、政策提言や政策立案を推進することを基本としています。

この度、市の最上位計画である「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」後期基本計画策定に向けた政策提言を目的として、龍ヶ崎市議会では初となる政策討論会を開催しました。

政策討論会は、3月26日、4月9日、4月17日、4月28日の4回で開催し、市政を取り巻くさまざまな課題について議員それぞれの立場や視点から多様な考えが示される中で、政策提言の方向性について一定の合意形成が図られました。

今後、「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」後期基本計画の策定に向けた政策提言として取りまとめ、市に対して提言を行う予定です。

